

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式
調査時点 平成27年6月1日発送
平成27年6月12日投函期限
調査対象 信用保証利用先1,500企業
有効回答数 342 企業(回答率 22.8%)

※ 当期: H27年4月～6月実績見込
次期: H27年7月～9月期予測

【DI値について】

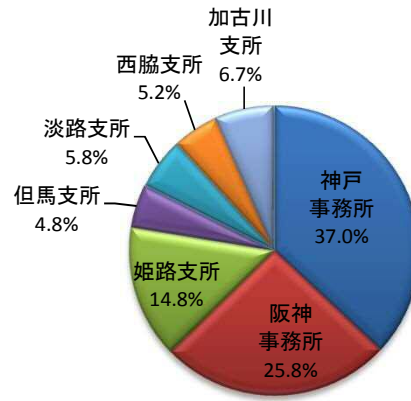
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

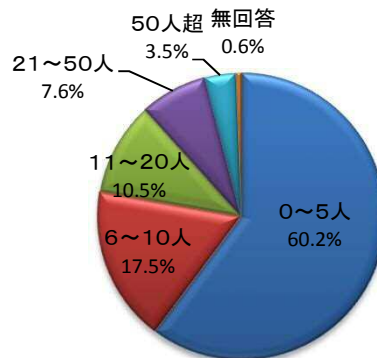
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	122	37.0%
阪神事務所	85	25.8%
姫路支所	49	14.8%
但馬支所	16	4.8%
淡路支所	19	5.8%
西脇支所	17	5.2%
加古川支所	22	6.7%
小計	330	100.0%
地域不明・無回答	12	-
合計	342	-



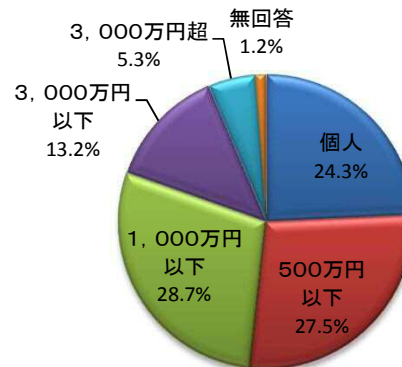
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	206	60.2%
6～10人	60	17.5%
11～20人	36	10.5%
21～50人	26	7.6%
50人超	12	3.5%
無回答	2	0.6%
合計	342	100.0%



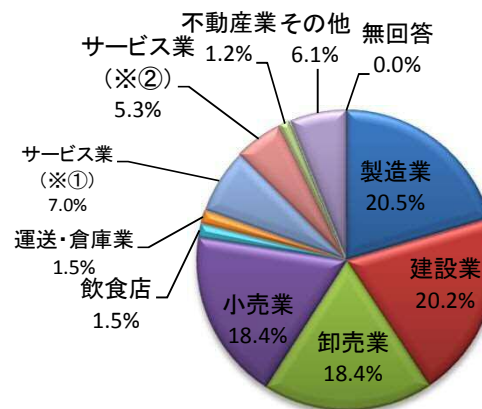
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	83	24.3%
500万円以下	94	27.5%
1,000万円以下	98	28.7%
3,000万円以下	45	13.2%
3,000万円超	18	5.3%
無回答	4	1.2%
総計	342	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	70	20.5%
建設業	69	20.2%
卸売業	63	18.4%
小売業	63	18.4%
飲食店	5	1.5%
運送・倉庫業	5	1.5%
サービス業(※①)	24	7.0%
サービス業(※②)	18	5.3%
不動産業	4	1.2%
その他	21	6.1%
無回答	0	0.0%
合計	342	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(15年4～6月期)は、前期(15年1～3月期)に比べてどのような状況ですか。
 (2) 次期(15年7～9月期)は、当期(15年4～6月期)に比べてどう思いますか。

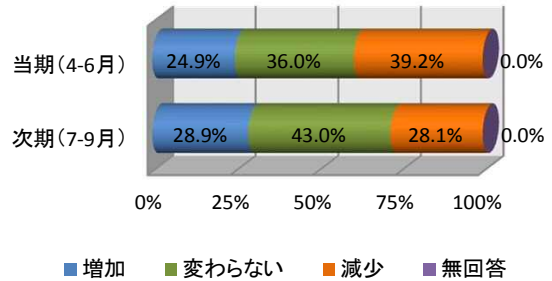
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	85	24.9%
変わらない	123	36.0%
減少した	134	39.2%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	99	28.9%
変わらないと思う	147	43.0%
減少すると思う	96	28.1%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%



生産・売上DI(増加-減少)

調査時期(実績)	2013年4～6月	2013年7～9月	2013年10～12月	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月(見込み)
兵庫県	▲ 23.2	▲ 13.1	1.2	▲ 7.3	▲ 13.4	▲ 11.3	▲ 8.7	▲ 18.8	▲ 14.3	0.9

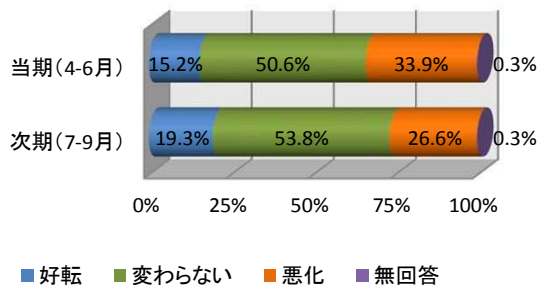
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	52	15.2%
変わらない	173	50.6%
悪化した	116	33.9%
無回答	1	0.3%
総計	342	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	66	19.3%
変わらないと思う	184	53.8%
悪化すると思う	91	26.6%
無回答	1	0.3%
総計	342	100.0%



採算DI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2013年4～6月	2013年7～9月	2013年10～12月	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月(見込み)
兵庫県	▲ 31.8	▲ 19.7	▲ 13.0	▲ 19.7	▲ 24.0	▲ 24.5	▲ 18.0	▲ 24.5	▲ 18.7	▲ 7.3

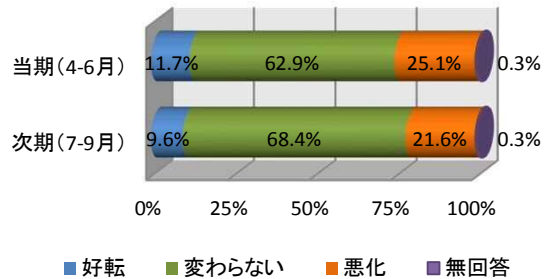
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	40	11.7%
変わらない	215	62.9%
悪化した	86	25.1%
無回答	1	0.3%
総計	342	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	33	9.6%
変わらないと思う	234	68.4%
悪化すると思う	74	21.6%
無回答	1	0.3%
総計	342	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2013年4~6月	2013年7~9月	2013年10~12月	2014年1~3月	2014年4~6月	2014年7~9月	2014年10~12月	2015年1~3月	2015年4~6月	2015年7~9月(見込み)
兵庫県	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 12.2	▲ 14.6	▲ 15.5	▲ 16.5	▲ 15.3	▲ 20.2	▲ 13.5	▲ 12.0

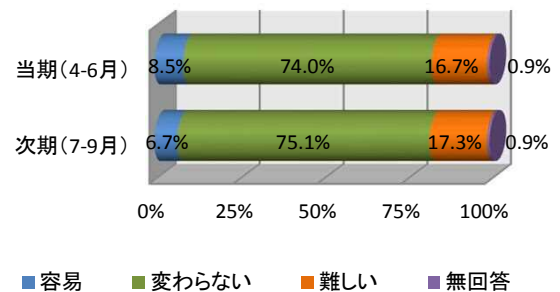
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	29	8.5%
変わらない	253	74.0%
難しくなった	57	16.7%
無回答	3	0.9%
総計	342	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	23	6.7%
変わらないと思う	257	75.1%
難しくなると思う	59	17.3%
無回答	3	0.9%
総計	342	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

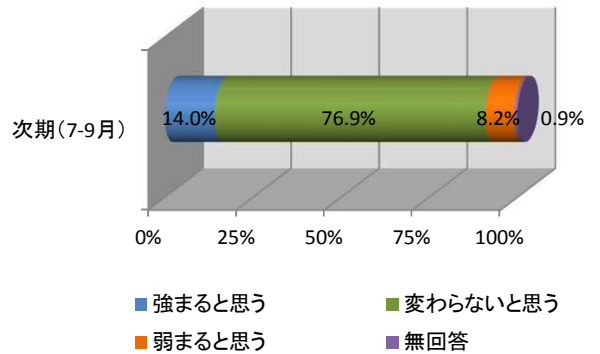
調査時期(実績)	2013年4~6月	2013年7~9月	2013年10~12月	2014年1~3月	2014年4~6月	2014年7~9月	2014年10~12月	2015年1~3月	2015年4~6月	2015年7~9月(見込み)
兵庫県	▲ 15.6	▲ 12.5	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 11.7	▲ 8.0	▲ 5.7	▲ 10.3	▲ 8.2	▲ 10.5

当期(4-6月)のDI値は、全ての項目で前回調査(1-3月)から改善が見られます。
次期(7-9月)についても「生産・売上」「採算」「資金繰り」は更に改善することが見込まれています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	48	14.0%
変わらないと思う	263	76.9%
弱まると思う	28	8.2%
無回答	3	0.9%
総計	342	100.0%



信用保証付要請DI(強まる－弱まる)

調査時期 (見込み)	2013年 1～3月 (4～6月)	2013年 4～6月 (7～9月)	2013年 7～9月 (10～12月)	2013年 10～12月 (1～3月)	2014年 1～3月 (4～6月)	2014年 4～6月 (7～9月)	2014年 7～9月 (10～12月)	2014年 10～12月 (1～3月)	2015年 1～3月 (4～6月)	2015年 4～6月 (7～9月)
兵庫県	6.6	8.9	5.6	6.4	5.9	4.4	8.0	3.6	2.3	5.8

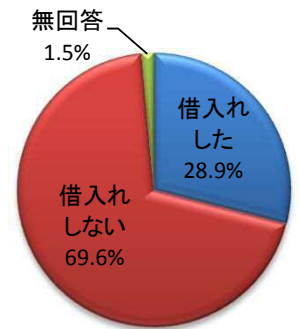
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ. 当期(15年4～6月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをされましたか。
※手形の割引は含めません

選択肢	15年4～6月期		15年1～3月期	14年10～12月期	14年7～9月期	14年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	99	28.9%	27.4%	30.3%	27.5%	25.3%
借入れしない	238	69.6%	68.1%	67.0%	68.0%	70.6%
無回答	5	1.5%	4.6%	2.7%	4.4%	4.1%
総計	342	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

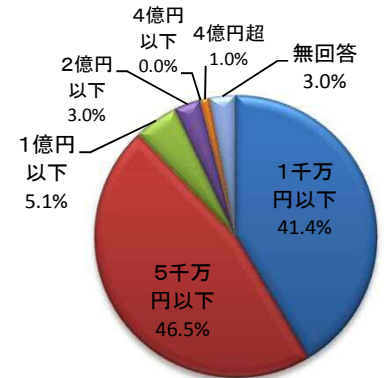
当期「借入れした」とする割合は、前回調査と比べ、1.5ポイント増加しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

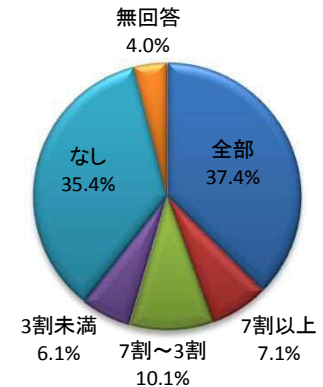
借入れ総額	15年4～6月期		15年1～3月期	14年10～12月期	14年7～9月期	14年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	41	41.4%	39.6%	36.6%	47.0%	46.2%
5千万円以下	46	46.5%	45.8%	44.6%	35.0%	39.8%
1億円以下	5	5.1%	8.3%	8.9%	8.0%	7.5%
2億円以下	3	3.0%	2.1%	4.0%	4.0%	2.2%
4億円以下	0	0.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%
4億円超	1	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.1%
無回答	3	3.0%	3.1%	5.0%	5.0%	3.2%
総計	99	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

前回調査と比べ、当期の借入総額は「1千万以下」「5千万円以下」の合計が2.5ポイント増加し、5千万円超では合計で2.3ポイント減少しています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

選択肢	15年4～6月期	
	回答数	構成比
全部	37	37.4%
7割以上	7	7.1%
7割～3割	10	10.1%
3割未満	6	6.1%
なし	35	35.4%
無回答	4	4.0%
総計	99	100.0%



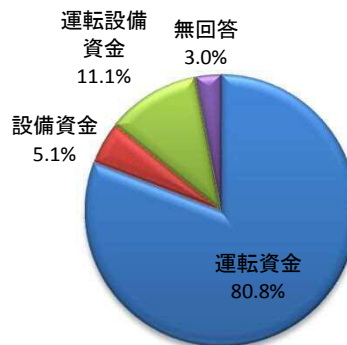
(参考) 前回までのアンケート結果

	15年1～3月期	14年10～12月期	14年7～9月期	14年4～6月期
選択肢	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	33.3%	37.6%	25.0%	30.1%
半分以上	10.4%	11.9%	18.0%	18.3%
半分未満	11.5%	9.9%	12.0%	11.8%
なし	41.7%	36.6%	42.0%	36.6%
無回答	3.1%	4.0%	3.0%	3.2%
総計	100%	100.0%	100.0%	100.0%

前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が4.1ポイント増加し、「なし」とする回答が6.3ポイント減少しています。

当期借入金の目的は何ですか。

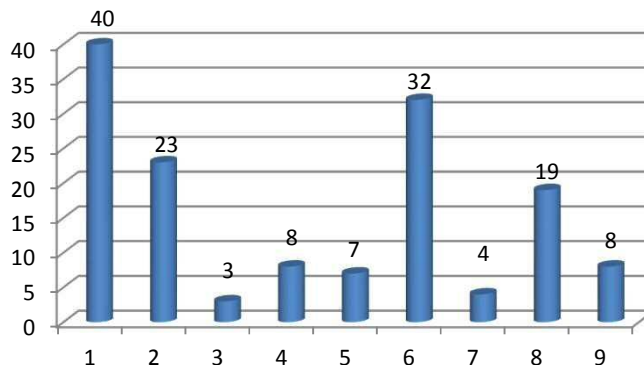
選択肢	回答数	構成比
運転資金	80	80.8%
設備資金	5	5.1%
運転設備資金	11	11.1%
無回答	3	3.0%
総計	99	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

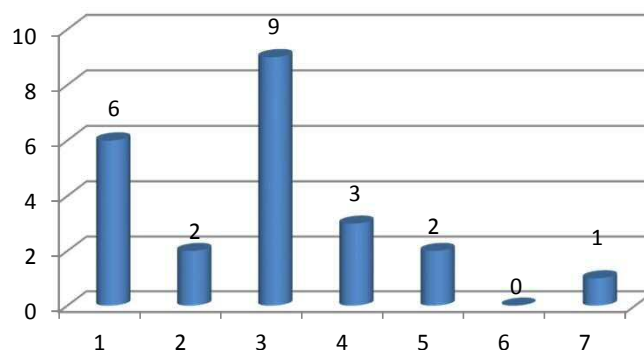
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	40
2 売上減少・赤字補填	23
3 過剰在庫対応	3
4 支払条件短縮対応	8
5 回収条件悪化対応	7
6 売上増加運転資金	32
7 在庫積み増し	4
8 季節運転資金	19
9 その他	8
総計	144



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が一番多く、次いで「売上増加運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

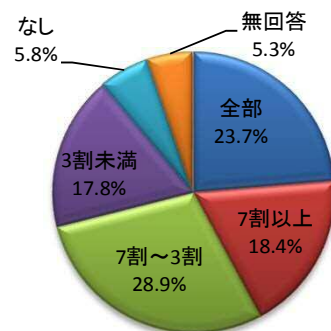
選択肢	回答数
1 新規事業	6
2 生産増強	2
3 合理化・効率化	9
4 設備老朽化に伴う入替	3
5 修理・修繕	2
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	1
総計	23



設備資金の種類は、「合理化・効率化」が一番多く、次いで「新規事業」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(15年6月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

選択肢	15年4～6月期	
	回答数	構成比
全部	81	23.7%
7割以上	63	18.4%
7割～3割	99	28.9%
3割未満	61	17.8%
なし	20	5.8%
無回答	18	5.3%
総計	342	100.0%



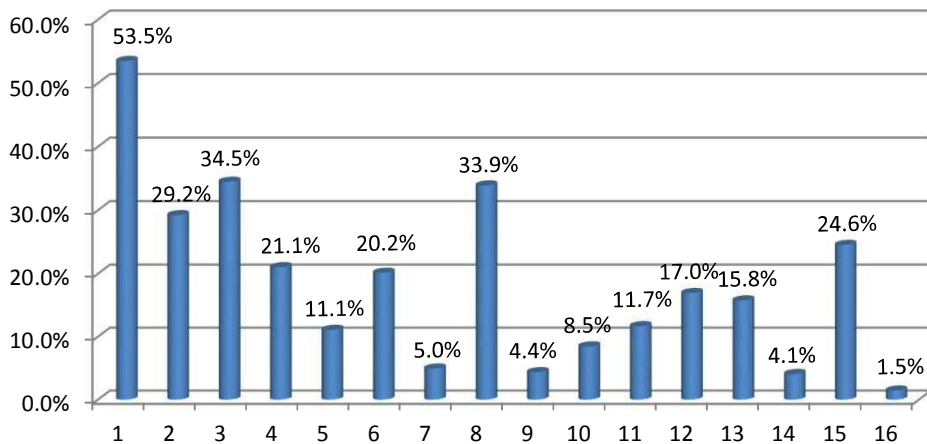
(参考) 前回までのアンケート結果

選択肢	15年1～3月期	14年10～12月期	14年7～9月期	14年4～6月期
	構成比	構成比	構成比	構成比
ほとんど全部	32.8%	30.0%	26.2%	30.2%
半分以上	25.9%	24.6%	25.9%	28.3%
半分未満	25.6%	30.3%	30.0%	28.6%
ほとんどなし	9.4%	8.4%	12.7%	7.9%
無回答	6.3%	6.6%	5.2%	4.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

借入総残高に占める信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」「7割～3割」の合計が71.0%となっています。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	183	53.5%	9 過剰在庫	15	4.4%
2 競争激化	100	29.2%	10 設備投資	29	8.5%
3 コスト高	118	34.5%	11 後継者難	40	11.7%
4 業界構造変化	72	21.1%	12 資金調達	58	17.0%
5 取引条件の悪化	38	11.1%	13 借入過多	54	15.8%
6 消費者ニーズの多様化	69	20.2%	14 為替	14	4.1%
7 技術・商品開発	17	5.0%	15 消費税増税	84	24.6%
8 人材・労働力の確保	116	33.9%	16 その他	5	1.5%



経営上の課題については、「売上・受注の減少(53.5%)」が最も回答割合が高く、次いで「コスト高(34.5%)」「人材・労働力の確保(33.9%)」「競争激化(29.2%)」の順となっています。

